

図書館が人を繋ぎ、地域をつくる

～東山和紙を通したまちづくり～



一関市立東山図書館(岩手県一関市) <http://www.library.city.ichinoseki.iwate.jp>

基本データ(数値はH25年現在)

住所	一関市東山町長坂字町335-1
電話番号	0191-47-2243
人口(図書館が所在する市町村)	124,198人
職員数(うち有資格者数)	10人(4人)
蔵書数	58,482冊
登録者数	2,015人
年間貸出冊数(H24)	75,363冊

目的・趣旨

- ・地域の伝統工芸品である東山和紙の継承のために、資料の収集、保存、創出を行う。
- ・講座等を開催し東山和紙の魅力を広め、素材として活用する方法を提案していく。
- ・東山和紙を通して、地域を活性化する。

取組概要

いちのせき元気な地域づくり事業(合併前の旧市町村単位に置かれた支所が事業主体)の一環で、平成23年度から3年間、東山図書館が東山和紙振興のための事業を実施した。

- H23年度「和紙を知る」
東山和紙の特性を知り、素材としての活用の方法を探った。
①ワークショップの開催(一部公民館との共催)
②地域内の書家等が東山和紙に揮毫した作品展の開催
③東山和紙を使用した図書館展示作品の制作委託
- H24年度「和紙を広める」
東山和紙の資料を収集し、制作工程を絵本にし、配布した。
- H25年度「和紙を使う」
日常的に和紙を使う機会を提案するため、和紙を素材にしたものづくり教室を開催した。
①一関張り、コサージュづくり、和綴じ本づくり教室の開催
②各教室終了後、アンケート調査を実施(和紙の需要、要望を掘り起こし、生産者へ還元)
③東山和紙作品展(事務局:支所産業経済課)への応募促進

特徴

産業振興を目的とする支所産業経済課と連携して事業を展開した。図書館側としては地域資料を創出し伝統文化を伝えること、東山地域の図書館としての特色づくりを目的に取り組んだ。



「ためせ!東山和紙調査隊」
東山和紙をちぎったり、もんだり、ぬらしたりと、子供たちが実験感覚で、東山和紙の特徴を体感した。



「絵本『東山和紙』の制作」
手すき和紙職人の協力を得て、絵本「東山和紙」を制作し、市内の小学校へ配布した。



「東山和紙を使用した図書館展示作品の制作委託」
東山地域に縁のある宮沢賢治作品をモチーフにした東山和紙の張り子人形。季節によって入れ替えをしている。

取組の成果と今後について

「東山和紙」をテーマに継続して取り組んだため、東山和紙が東山図書館の特色の一つとして位置付けられたとともに、各種の取り組みを通じて、和紙を作る人(和紙生産者)、支える人(行政)、使う人(消費者)とが結び付き、東山和紙を取り巻く環境を盛り上げ、まちづくりに貢献出来たと思われる。今後は、他の地域産業、伝統文化にも着目し、図書館事業を通した新たなまちづくりに取り組んでいきたい。